

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動

1) 資格認定講習

受講者数を維持すべく「既存取得者の掘り起こし」「初日を午後開始とすることによる遠方参加者の掘り起こし」「HPでの分かりやすい告知」「問い合わせ者への小まめな連絡」を行い、国立オリンピック記念青少年総合センター（平成29年1月7日～8日）と札幌科学技術専門学校（平成28年10月1日～2日）にて開催し、25名（目標18名）の受講者となった。内訳は以下のとおり。

級	人数
上級	0名
中級	12名（うち北海道2名）
初級	13名（うち北海道3名）

(※1) 理事紹介 中級2名

(※2) 問い合わせのみ 約15件

2) 認定校制度

認定校数と取得者数を維持すべく、「成功事例の創出」「認定校個別の対応」を行った。結果、34校より327名（目標200名）の環境再生医初級を認定した。

3) 資格取得者の管理（更新等）

前年度に続き、取得者への小まめな連絡や更新時期の明示化（認定書への有効期限の記載）によって、更新率は63.2%（目標50%以上）の36名であった。

また、取得者管理の効率化と有効化のために、「申請書（認定校）のシンプル化とデータ提出」「一般取得者の活動内容をDBへ反映」を行った。

4) 資格制度の質の向上

ネットワークの活性化を目的に、北海道・東京都・埼玉県入間市の3会場（目標4会場）にてイベントを開催した。

5) 都市農業機能発揮対策事業

周辺住民への防災協力農地に関する情報発信の取り組みの実施、アンケート調査によって、「(1)防災協力農地が持つ防災機能の維持・強化及び地域住民等への周知」「住民ニーズ把握と次年度活動課題の抽出」を目的に以下の取組を実施した。

■防災協力農地が持つ防災機能の維持・強化及び地域住民等への周知

- ・自治会・農家等と連携した周知チラシを研修会・アンケート調査票配布時に地域住民に配布
- ・「防災・防犯研修会」実施の支援による、防災協力農地の多様な機能や避難場所としての機能の周知
- ・都市農業の多様な機能と平常時の地域の互助について学ぶ防災研修会の実施

■その他防災協力農地を活用・普及するための取組

- ・防災と自治会についての意識を問うアンケート調査票の原稿作成
- ・防災協力農地を中心とした地区（約2,300世帯）へのアンケート調査の実施

6) その他

環境省「環境教育の人材認定等事業」の登録資格となった。

また、環境再生に関する知の集約を目的に、広報部会のニュースレター発行と連携しつつHP上に環境再生事例を4件追加した。

② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

1) レンジャーズプロジェクト

レンジャーズ隊員の派遣を52回実施した。
 隊員登録数は2,778名（内、上級3名、中級5名、級不明77名）となった。
 横浜市内での実施はNPO法人よこはま里山研究所との協働で行うことによって、効率良く運営を行えた。
 7団体（㈱資生堂、㈱ホンダトレーディング、㈱ハルエネ、NPO法人フュージョン長池、拓殖大学等）から受託したプログラムを実施した。
 渋谷区の助成金「みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付事業」にて渋谷区内での活動を行った。
 9月末日まで、三井物産環境基金にて「未来の生物多様性を担う人材育成プロジェクト」（親子レンジャーズ）を実施した。

③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

1) ふるさと未来創造事業

農林水産省「平成28年度農山漁村振興交付金」の採択があった地域協議会等（6団体）より受託しつつ以下の業務を行った。

団体名称／地域	内容
NPO法人浜わらす／宮城県気仙沼市本吉町	都市住民等への海辺の自然体験プログラム提供の事業化
宇都宮農村交流プロジェクト協議会／栃木県宇都宮市上河内	地域資源（農地・河川・歴史伝統文化等）を活かしたグリーン・ツーリズムプログラムの開発
喜連川公方城下町再生プロジェクト協議会／栃木県さくら市	地域資源（農林漁業・歴史伝統文化等）を活かしたグリーン・ツーリズムプログラムの開発
高倉ふるさとづくりの会／埼玉県鶴ヶ島市高倉	農業と福祉の連携。施設外就労を中心とした障害者雇用による農業の活性化。
金沢・平町活性化協議会／石川県金沢市平町	地域資源（千本桜や蛸・食・伝統文化等）を活かした地域活性化。
アグリウェルフェアワーク推進協議会／熊本県阿蘇市	農業と福祉の連携。協議会独自の障害者雇用の仕組みを作り、農家の所得の向上と障害者向けの社会自立促進（福祉サービス）に繋げ、地域内外へ普及・啓発を行う。

大阪マラソン2016の公式寄附先団体に選定され、選定された水色カラーのテーマ「きれいな水を支える」の下に「気仙沼市における被災した地域の子どもの海体験プログラムの提供」「静岡県松崎町石部地区の棚田におけるホテルの里再生」「マザーレイクフォーラムの支援（琵琶湖）」「阿蘇農業の活性化による熊本の水源地保全」の活動を行った。
 湘南国際マラソン2016の募金先団体に選定され、「気仙沼市における子どもの自然体験プログラム」等の活動を行った。さらに、大会当日のチャリティブースを設置し広報を行った。

2) 福島再生事業

葛尾村より「水田における放射性物質流入抑制対策事業」と「農山村地域復興基盤総合整備事業」を受託し事業を実施した。
 飯舘村より「濁水流入防止対策（臼石、須萱地区）」を受託し事業を実施した。

事業名	内容
水田における放射性物質流入抑制対策事業／葛尾村	実践のため池の強化対策として溶存態セシウムの軽減策として圃場への流入を防止する遮断機の設置を実施。
農山村地域復興基盤総合整備事業／葛尾村	冬期における村内10か所地点における農業用水の放射性物質濃度の調査を行い農業者の不安を払しょくすることを目的に、実践のため池ならびに濁水流入防止装置、リアルタイム監視システムの設置を行い、実証実験を行った。
濁水流入防止対策（臼石、須萱地区）／飯舘村	実践のため池の強化対策として溶存態セシウムの軽減策として圃場への流入を防止する遮断機の設置を実施。

④ 自然体験学習に係る活動
特になし

⑤ テキスト等の出版に係る活動
特になし

⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動

1) ニュースレター

ニュースレター（環境再生事例6頁・進捗2頁）を年4回発行した。

2) ホームページ

ホームページの他、MLとSNS (Facebook・Twitter)にて情報発信を行った。

⑦ 自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動
特になし

(2) その他の事業
なし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動	1) 資格認定講習 2) 認定校制度 3) 資格取得者の管理（更新等） 4) 資格制度の質の向上 5) その他	1) 10/1-2、 1/7-8 2) 通年 3) 通年 4) 10/1、1/7 5) 通年	1) 北海道、東 京都 2) 全国 3) 全国 4) 北海道、東 京都、 5) 全国	5人	1) 受講者 25人 2) 認定者 327人 3) 更新者 36人 4) 参加者 10人、30 人 5) 認定者数 4,380人	3,707
② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	1) レンジャーズプロジェクト	1) 通年	1) 埼玉県、東 京都、神奈 川県	5人	1) 登録者 2,778人	2,745
③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農業に係る活動	1) ふるさと未来創造事業 2) 福島再生事業	1) 通年 2) 通年	1) 宮城県気仙 沼市、栃木 県宇都宮 市、栃木県 さくら市、 埼玉県鶴ヶ 島市、静岡 県松崎町、 石川県金沢 市、滋賀 県、熊本県 阿蘇市 2) 福島県葛尾 村、福島県 飯舘村	5人	1) 協議会構 成員等 36人 2) 葛尾村・ 飯舘村住 民 7,360人	31,537

④ 自然体験学習に係る活動	特になし					0
⑤ テキスト等の出版に係る活動	特になし					0
⑥ 社会啓発や情報発信に係る活動	1) ニュースレター 2) ホームページ	1) 年4回 2) 通年	1) 東京 2) 東京	3人	1) 発送数 4,400人 2) 閲覧者 120,000人	1,364
⑦ 自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動	特になし					0

(2) その他の事業
なし